

鎌田 英一さん(松原町)

東京都出身

① 活動内容

松原町内の空き家を交流拠点として整備し、ワークショップを行ったり、「やまびこ市場」で交流イベントなどを開催したりしてきました。そうした中で得た地域の技、かご編みやしめ縄飾りなどを町外の人へ伝えていきます。また活動終了後に向けて、高梁市が誇る伝統的な顔料「べんがら」を用いた商品開発に挑戦しています。

② 協力隊になった経緯

藍染めなどの染色を生業にしていきたいと思っていたので、ものづくりに挑戦できる環境を探して



松野 夏子さん(宇治町)

東京都出身

① 活動内容

宇治町にある古民家の再生に取り組んでいます。また、市街地で古民家カフェを開業(土日のみ営業)しており、新鮮で美味しい地域の食材を生かしたメニュー開発や農業体験イベントなどを開催しています。

② 協力隊になった経緯

以前から田舎でのびのび子育てをしたいと思っており、東日本大震災をきっかけに決心し、岡山県内を下見しました。高梁の風景が美しく、高梁市の魅力を全国の人たちに広めながら、地元の人にも



ワークショップでしめ縄を教える

いました。その時に地域おこし協力隊制度を知りました。

岡山県は知人が住んでいましたし風土が好きでした。その中でも、自分の夢が実現できそうな高梁市の協力隊に応募しました。

③ 今後取り組みたいこと

衣服の企画や生産を目指して、現在べんがら染めのワンピースを企画中です。高梁を起点に各地の作家さんたちとコラボレーションしながら、高梁市や「べんがら」の認知度向上に貢献していきたいです。

④ 高梁のことが好き!

とにかく野菜が美味しいです。目の前に広がる棚田も美しく、穏やかな気持ちで過ごせます。このご縁を何かの形にできるように、夢に向かって日々まい進していきます。

③ 今後取り組みたいこと

古民家の再生を参加型イベントにして楽しんでもらうことで、多くの人にリフォームや空き家活用に興味、関心を持ってもらいたいです。また、古民家カフェを親子にも気軽に親んでもらえる里山カフェにしていきたいです。

④ 高梁のことが好き!

穏やかな里山の風景、昔ながらの手仕事や沢山あるところ、騒音や振動がない(野生動物の気配はたまにある)、そして子どもが走り回ったり大声を出したり木に登ったりと、五感を使って遊べる環境があるところです。



古民家 cafe 茶蔵~Sakura~

天神 裕二さん(成羽町)

奈良県出身

① 活動内容

歴史や伝統文化を学びながら、吹屋地域、備中松山城の観光ガイドや観光振興の活動を中心に取り組んでいます。また、成羽町内でカフェ&日本酒バーを開業するための準備も進めています。

② 協力隊になった経緯

移住前は大阪で会社員として働いていました。田舎暮らしへの憧れはありましたが、移住後の仕事や見知らぬ土地での暮らしが不安でした。その時に地域おこし協力隊制度を知り、地域の人と交流できる仕事だと思い応募しました。

金盛 友彦さん(川面町)

北海道出身

① 活動内容

川面町にある古民家を再生して、「ゲストハウス柔」を運営しています。今後はこの宿泊施設を拠点に、高梁市の資源(観光、自然、人など)を生かした体験型プログラムを開発し、高梁の魅力を発信していきます。

② 協力隊になった経緯

JICA 青年海外協力隊の任期を終えて帰国後、海外での経験を日本で生かそうと決意しました。その時に地域おこし協力隊制度を知り、高梁市の自然や伝統文化に引かれて応募しました。



③ 今後取り組みたいこと

市内の観光地でガイドをしているので、観光振興には今後も携わっていきたいです。そして、市民の皆さんに地域おこし協力隊の活動がより認知されるようにPRしながら、地域との交流を深めたいです。

④ 高梁のことが好き!

高梁への移住を決めた理由は、歴史薫る町並みが気に入ったからです。私が住んでいる吹屋はもちろん、備中松山城や城下町、吉岡銅山跡なども素晴らしいと思います。この素晴らしいさをつないでいきたいと思っています。



観光用の竹杖を作成



川面町でオープンした「ゲストハウス柔」

③ 今後取り組みたいこと

「ゲストハウス柔」を通じて、海外の旅行者を高梁市に呼び込みたいと思っています。また、地域の人たちにこの施設を交流場所として活用してもらいたいです。

④ 高梁のことが好き!

ふとした日常の風景や山から見える町の展望、山間を流れる高梁川、冷え切った空気の中で眺める日の出がお気に入りです。桜が咲いている季節もとても好きです。